

教室にオープン方式導入

こいそ都議 新設の小学校を視察

東京都町田市



オープンスクール方式の教室で説明を受ける、こいそ都議（右から2人目ら

東京都議会公明党のこいそ善彦都議（都議選予定候補＝町田市）は18日、今月から開校した町田市立小山ヶ丘小学校を視察した。公明党の町田市議、富田光男、渡辺均の両神奈川県議、相模原市議らが同行した。

同校の通学区になった町田市小山ヶ丘の一部地域は今まで、距離の離れた小山小学校の通学区であったため、児童はバスなどによる通学を余儀なくされていた。待望の新設校誕生に同地域の児童や保護者からは喜びの声が上がっているという。また同校の新設により、小山小学校でも31学級に及ぶ過大規模校化が解消される見通しだ。

新設校の特徴は、教室と廊下の間仕切りがないオープンスクール方式の普通教室。他クラスとの交流や少人数指導など教室にとられない多様な学習方法への対応ができる。また点字ブロックなどのバリアフリー化や太陽光発電、屋上緑化、シックススクール対策など最新の学習環境が整備されている。

視察の中でこいそ都議は、地震などへの防災対策やオープンスクール方式に対する児童の評判、授業における効果などを聞いた。こいそ都議はこれまで、地域住民らとともに都に申し入れを行うなど、小学校新設に向け

た環境整備に尽力してきた。